

キプロス（2025年度）

- [国・地域別情報トップページへ](#)
- [各国・地域情勢](#)
- [在キプロス日本国大使館](#)

1. 2024年度日本語教育機関調査結果
2. 日本語教育の実施状況
3. 教育制度と外国語教育
4. 学習環境
5. 教師
6. 教師会
7. 日本語教師派遣情報
8. シラバス・ガイドライン
9. 評価・試験

1.2024年度日本語教育機関調査結果

初等教育			中等教育			高等教育			学校教育以外			全体の合計		
機関数	教師数	学習者数	機関数	教師数	学習者数	機関数	教師数	学習者数	機関数	教師数	学習者数	機関数	教師数	学習者数
0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	50	1	1	50

（注）2024年度日本語教育機関調査は、2024年9月～12月に国際交流基金が実施した調査です。また、調査対象となった機関の中から、回答のあった機関の結果を取りまとめたものです。そのため、当ページの文中の数値とは異なる場合があります。

[「海外日本語教育機関調査」のページへ](#)

2.日本語教育の実施状況

全体的状況

キプロスでは日本語教育の実施は確認されていない。

沿革

キプロスでは、学校教育において日本語教育は行われていないが、個人経営の語学学校1校及びオンラインによる個人授業により、日本語教育が提供されている。毎年、文部科学省国費留学生1名が研究生として選出されているが、日本語のニーズや普及度は未だに低い状況にある。

背景

キプロスでは、多少高価だが性能の良い日本製の家電製品や自動車に人気がある他、日本は伝統と歴史を持ちつつ、先端技術にも優位性がある国として比較的好意的に認識されている。近年は、新婚旅行等の渡航先として選ばれることも多く、日本人気の高まりが伺える。他方、日本企業の進出は極めて限定的であり、在留邦人も少

ない中、社会における日本語のニーズは低く、従って日本語学習者数も限定的であり、日本語を含む日本文化を学ぶことを希望するキプロスの学生は、これまで英国乃至はギリシャに留学していた。しかしながら、これまで多くの優秀な学生が留学先として英国の大学を選択していたが、ブレグジットの影響により英国への留学費用が高額になったこともあり、新たな選択肢として日本留学を検討する学生の増加が期待される。

特徴

在キプロス日本国大使館は、2018年の開設以来、文化事業の開催や人的ネットワークの構築により、日本文化発信の機会を着実に積み重ねており、今後は現地大学や文化機関とも協力し、日本語学習意欲の向上を促すようなイベントの更なる実施や学習の機会を提供していく。

最新動向

これまで大学や高校等の教育機関における日本語教育は実施されていないが、個人経営の語学学校における日本語講座の開設や個人授業が行われている。同国でも、若年層のアニメ・マンガへの人気は徐々に高まる傾向にあり、Jポップのファンクラブも設立されている。今後、大使館による様々な働きかけを通じて両国の文化・教育分野における協力関係が構築され、日本語普及の裾野が広がることが期待される。

同地での大学の歴史はまだ30年程度と浅く、近年まで大学への進学は留学を意味していた。現在でも優秀な学生ほど留学を選択しており、EU加盟国であるキプロスの若者にとって、これまでは英国が主な留学先であった。ブレグジットにより英国留学には高額な学費の支払いが必要となったことから、英国に留学する学生が減少する可能性があり、今後日本も留学先候補となる可能性や、それにとまなう日本語学習希望者の増加が期待される。

教育段階別の状況

初等教育

日本語教育の実施は確認されていない。

中等教育

日本語教育の実施は確認されていない。

高等教育

日本語教育の実施は確認されていない。

学校教育以外

学生や一般社会人を対象とした、民間レベル（語学学校1校及び個人授業）での日本語教育は実施されている。

3.教育制度と外国語教育

教育制度

教育制度

- 就学前教育 (Prodimotiki) : 5~6 歳
- 小学校 (Dimotiko) : 6~12 歳
- 中学校 (Gymnasio) : 12~15 歳
- 高等学校 (Eniaio Lykio) 及び 2 年または 3 年制の技術訓練高校 (Techniki Scholi) : 15~18 歳

高等教育機関は、全国統一入試による国立大学 (Panepistimio)、私立大学の他、国立技術教育専門学校、私立技術教育専門学校がある。技術教育専門学校は、大学卒業資格には相当しない。

義務教育は就学前教育から中学校の 10 年間。

教育行政

初等・中等・高等教育機関は教育・スポーツ・青年省の管轄下にある。

言語事情

ギリシャ系住民の間ではギリシャ語、トルコ系住民の間ではトルコ語。英語も広く使用されている。

外国語教育

小学校 1 年から 6 年まで第一外国語として英語を履修(必修)。

中学校 1 年から 3 年まで第一及び第二外国語として英語とフランス語を履修(必修)。

高校 1 年で第一及び第二外国語として英語とフランス語を履修(必修)。高校 2、3 年より 7 か国語(英語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ロシア語、トルコ語、ドイツ語)の中から 2 か国語を選択・履修(必修)。

外国語の中での日本語の人気

キプロスにおいては英国が旧宗主国であるため、ほとんどの国民が英語を解する他、ロシア企業が多く進出しており、ロシア系住民も多いため、ロシア語の人気がある。日本語学科は存在せず、日本語への関心はそれほど高くない。

大学入試での日本語の扱い

大学入試で日本語は扱われていない。

4. 学習環境

教材

初等教育

日本語教育の実施は確認されていない。

中等教育

日本語教育の実施は確認されていない。

高等教育

日本語教育の実施は確認されていない。

学校教育以外

民間の語学学校1校で、日本語教育が行われている。

IT・視聴覚機材

日本語教育にIT・視聴覚機材は使われていない。民間の語学学校では、オンラインでの個別レッスンも実施している。

5.教師

資格要件

初等教育

日本語教育の実施は確認されていない。

中等教育

日本語教育の実施は確認されていない。

高等教育

日本語教育の実施は確認されていない。

日本語教師養成機関（プログラム）

日本語教師養成を行っている機関、プログラムはない。

日本語のネイティブ教師（日本人教師）の雇用状況とその役割

日本語のネイティブ教師（日本人教師）はいない。

教師研修

現職の日本語教師対象の研修はない。

6.教師会

日本語教育関係のネットワークの状況

日本語教育関係のネットワークはない。

最新動向

特になし。

7.日本語教師派遣情報

国際交流基金からの派遣

JF からの派遣は行われていない。

その他からの派遣

(情報なし)

8.シラバス・ガイドライン

統一シラバス、ガイドライン、カリキュラムは確認されていない。

9.評価・試験

共通の評価基準や試験は確認されていない。日本語能力試験 JLPT についても、これまで当地で実施されたことはないが、昨今、当地での実施を希望する声が増加している。

情報更新についてのお願い

この国の日本語教育に関する情報がありましたらお知らせくださるようお願いいたします。

なお、内容の確認のため、こちらからご連絡する場合があります。

E メール：kunibetsu@jpf.go.jp

(メールを送る際は、全角@マークを半角@マークに変更してください)